

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	アナライズ4
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	自分で制作した楽曲を保存しておけるようなUSBまたはハードディスク				
担当教員情報					
担当教員	川島基宏/原田博之		実務経験の有無・職種	有・トラックメーカー・作編曲	
学習目的					
楽曲また作曲家等分析することにより、自分がどのような作品を制作するのかを改めて認識し、卒業後の作家としての活動に生かしていくことを目的とする。 後期は「協働制作」をテーマにし、昨今のクリエイターとして必要不可欠なコンテンツを含めた制作を進め音楽だけではなく幅広いクリエイターを目指す。					
到達目標					
分析を基にコンテンツ制作も視野に入れたクリエイターを目標とする。 他人とのコ・ライティング、共同作業によってコミュニケーション能力を高めていく事、そしてそれらにより作品のクオリティを上げていくことを目標とする。 合同卒業展への作品展示・Real Dreamsでの披露等幅広く活用できる作品を制作する。					
教育方法等					
授業概要	前期は主に分析を主とした講義を展開する。音楽の分析はもとより後期に向けてのグルーピングのための各個人の人間分析も行う。 各個人の音楽に対する分析を基に分析課題を行い発表し、方向性の近い学生とチームを作り、後期はチームごとで制作に入っていく。 最終授業内でプレゼン発表会を行う。				
注意点	前期の分析発表会では他人の発表もこまめにノートに記録する。分析結果をもとにグルーピング基準を検討し制作すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する。		
	小テスト	0%			
	レポート	30%	課題発表のレポート内容を評価する。		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	発表会での内容を評価する。		
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	映像コンテンツ①		映像の種類・仕組みを理解する		
2回	映像コンテンツ②		制作における手順、必要機材等を把握する		
3回	映像コンテンツ③		動画、静止画収録に関しての講義		
4回	映像コンテンツ④		動画編集①		
5回	映像コンテンツ⑤		動画編集②		
6回	映像音楽に関して①		映画音楽に関して理解を深める		
7回	映像音楽に関して②		アニメーション音楽に関して理解を深める		
8回	映像音楽に関して③		PVに関して理解を深める		
9回	グループ制作①		コンテンツの制作における段取り・依頼・制作に必要な絵コンテ等の準備を行う		
10回	グループ制作②		挿入曲・テーマ曲等曲数の確定・制作 プリプロ音源の制作		
11回	グループ制作③		単発レコーディング リズムセクションレコーディングのディレクションを行う		
12回	グループ制作④		アディショナルセクションのレコーディング作業を行う		
13回	グループ制作⑤		歌録りをメインに他オーバーダビング～ミックスダウンまでの作業を行う		
14回	グループ制作⑥		コンテンツとの融合の最終チェックを行い修正作業を行う		
15回	まとめ		最終発表会の実施 合同卒業展への作品展示		